そろパソ通信

第 194 号　2025 年 11 月

そろばんは頭をよくする魔法の道具。

Let's soroban（レッツ・ソロバン）

2025 年も残すところ、１ ヶ月あまり。あんなに暑かったのがウソのように気温は下がり始め、朝夜はヒンヤリした冬の寒さを感じるシーズンの到来。教室では冬の競技大会に向け、プリント問題や読み上げ算の練習を始めています。過去の自分を競争相手に１問でも正答数が増えるように、集中してやっていきましょう！

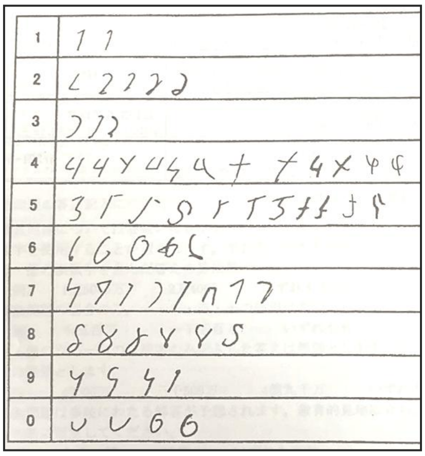
答え（数字）の書き方について

12345　67890

検定試験ではそろばん・暗算ともに限られた時間の中で解答用紙に答えを記入しなければなりません。しかし急いで答えを書こうとするあまり、数字が乱暴になってしまい読み取れない場合があります。一問でも多く正答したいという気持ちは分かるのですが、残念ながら読みづらい数字は×になってしまいます。もっとも多いケースは、0と6（ゼロを書いたつもりなのに上が突き抜けて6に見えてしまう場合や、その逆に上の部分が短すぎて6がゼロに見えてしまう場合）。それ以外にも乱れた数字を本当によく見かけます。

対策としては、普段の練習から正しい書き順できちんと記入するように習慣づけること、常に先のとがった鉛筆を 2～3 本用意しておくこと。せっかく正答にたどり着いたのに、数字が汚いことが理由でバツとなったらとても残念です…。

（＊検定は数字ルールが厳しいですが、競技大会・F１ などでは速さを重視するため多少は甘めの採点基準となることが多い）



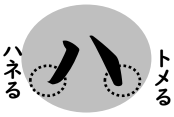
左にあるのは、過去の検定試験で実際にあった数字を抜粋したものですが、すべての数字が✕（不正解）となります。最上部の「１（イチ）」は一見すると、えっ、どうして？ と思われるかもしれませんが、ここの「１」は始点から少しだけ右に移動してから下に降りています。このような書き方だと「１」と「7」とを混同してしまう可能性があるので、珠算ルールでは NG となっています。

＊ 注意するべき珠算検定のルール ＊

- 消しゴムの使用（訂正する場合は二本線で消して横に正答を書く）
- 数字の二重書き（なぞって書くこと）
- コンマのない答え

コンマと小数点について

12,345.67



そろばん検定の場合、3級から掛け算と割り算で小数を扱った計算が出題されますが、この場合も数字と同様に、せっかく数字はすべてあっているのに、不自然な小数点を付けているために✕になってしまう場合があります。

たとえば、以下ような場合はすべて不正解となってしまいます。

（１）コンマと「１（数字）」の大きさが同じ　（2）コンマと小数点の区別がつかない　（3）コンマや小数が数字と重なる

よく目立つのが（１）（2）なのですが、記入するときにはカタカナの「ハ」の字をイメージし、コンマは左にはねる、小数点は右にとめる…を意識しながら徹底しましょう。

また、プリントに書かれている問題の数字は、コンマがグルグルチョン（分かりますか？）、小数点は小さなグルグルになっているので、実際の答えもこれをマネして書いてしまう生徒が時々いますが、これもダメです。そもそも‘グルグル’を書くだけ時間のムダ使いですよ～。

6,413 × 30.8 ＝

冬休み

12 月 30 日（火） ～ 1 月 5 日（月）

上記の期間は‘冬休み’のためお休み。１ 月最初の授業は次の通り。
◆塔ノ木教室・・・１ 月6日（火）　◆高見教室・・・１ 月7日（水）

1 月 12 日（月）
成人の日
高見教室では
授業を行います